

納入事例

株式会社フジテレビジョン 様 V5 スタジオ

あらゆる番組に使用する汎用スタジオに納入された
CALREC の最上位デジタルミキシングコンソール “APOLLO”



V5 スタジオの CALREC “APOLLO”

■ あらゆる番組に使用する「V5 スタジオ」

株式会社フジテレビジョン様の「V5 スタジオ」は、生放送、バラエティ、スポーツ、音楽番組、大規模なイベント番組などあらゆる番組に使用される大型の汎用スタジオで、5.1ch サラウンドにも対応しています。今回の改修で音声系の機器が全面的に入れ替えになり、CALREC の最上位デジタルミキシングコンソール “APOLLO” が採用されました。

■ スペースの効率化 + 使いやすさ

「そのときに一番いいものを」というコンセプトの元、今回の改修においては、スペースの効率化が重要視されました。最近ではワイヤレスマイクを出演者全員につけてほしいという制作の要望もあり、必要なチャンネル数も多くなりがち。操作性も考え、最大ミックスチャンネル数 1020、物理フェーダー 56 本を 1998mm のコンパクトなサーフェスに収めた APOLLO が採用されました。ラックも 3 本と簡潔なシステムになっており、改修前の 7 本から大幅減。ガラス面も排除され、音環境の改善にもつながりました。



システムラックもコンパクトに

V5 スタジオは、社員だけでなくプロダクションのエンジニアたちも多く使用するため、誰にでも使い易く迅速に対応できるコンソールが求められました。APOLLO は便利な機能が多く、特にアサインブルモード、チャンネルストリップモード (ワイルドモード) の 2 つのモードが特徴的です。アサインブルモードは選択したチャンネルの細かな操作と詳細な表示ができ、ワイルドモードはすべてのチャンネルの簡単な操作と必要最低限な表示が可能です。サーフェス上のタッチパネルで瞬時に切り替えられ、状況に応じた使い分けができます。また、最大 3 人までの独自の操作を完全に独立して行えるユーザースプリットという機能もとても有効。大人数のトーク番組などで複数のエンジニアが同時にオペレートする際には、各自アサインブルモードで自分好みのミキシングスタイルを確立できます。

また、アナログ卓と同様、CALREC のヘッドアンプを今回も非常に良好と高い評価をいただいています。さらに、安全面についても「イギリスの BBC で相当鍛えられているようでしっかりしている」とオートマチックリダundantシステムを評価していただきました。

● お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880

HIBINO

hibino Group

▼株式会社フジテレビジョン

〒137-8088
東京都港区台場二丁目4番8号
www.fujitv.co.jp

【運用開始】

2010年3月

【主要な納入機材】

機材	デジタルミキシングコンソール
ブランド名	CALREC
製品名	APOLLO
機材	デジタルマルチプロセッサー
ブランド名	BSS AUDIO
製品名	BLU-160
機材	マスターサウンドディスプレイ
ブランド名	DK-Technologies
製品名	MSD-600M++
機材	デジタルシンククロックジェネレーター
ブランド名	STUDER
製品名	D21 MasterSync
機材	音声分配器
ブランド名	RANE
製品名	DA 216S
機材	デジタルエフェクター
ブランド名	Lexicon PRO
製品名	960L